

速水小学校からの報告

活動団体名： 速水小学校 4 年生

活動人数： 32 人（教員 1 名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1 回目：6 月 8 日（木） 速水小学校 100m の下流

速水小学校付近の丁野木川で、虫取り網や金網ざるを使って指標生物を採取しました。まず初めに講師の八木先生から注意事項や生物の採り方などを学習しました。その後、丁野木川に移動し、実際に採取活動をしました。初めは川の生き物に抵抗があり、なかなか取り組めなかった児童も、活動が進むにつれ夢中になって取り組むようになっていました。学校に戻って、採れた生物を仕分ける活動をしました。小さな生き物が多いので、ピンセットや金魚すくい網を使いながら仕分けました。見たことのない生き物を発見するたびに、子どもたちは喜びの声をあげていました。普段目にしている川にもたくさんの生き物が住んでいることに、子どもたちは驚いていました。指標生物の採取を通して、身近な川の水質や、そこに住む生き物たちに興味を持つきっかけになりました。最後にパックテストを行い、丁野木川の水質を調査しまし



調査員の感想

- 学校の近くの川は、思ったよりきれいなことがわかってよかったです。でも、（水質階級が）Ⅱに近いⅠだったので、これからもっときれいにしたいと思いました。
- 川は、生き物にとって大切なすみかだということがわかりました。
- 生き物を捕まえるのが楽しかったです。たくさんの生き物が見つかってよかったです。

捕まえた生き物たち

ガガンボ類・サワガニ・ウズムシ類・トビケラ類・カゲロウ類・カワニナ・サホコカゲロウ・ヒル類・ミズムシ・赤いユスリカ・イトミミズ類・ヨコエビ・ゲンジボタルの幼虫・ドンコ・カワムツ・ハグロトンボ・ボウフラ・スジエビ・ヌマエビ・エビモ・カワチシャ・こけ・アマガエル



調査のまとめ

比較的きれいな川に住んでいるガガンボやヘビトンボ、サワガニなどが多く見られました。この結果から、丁野木川はきれいであるということがわかりました。また、パックテストを行った結果、COD 値は昨年度と同じで 4 という結果になりました。見た目ではなかなか汚れの状況は分かりませんが、指標生物やパックテストで調べることで、はっきりと数値化されてわかるということを子どもたちは知ることができました。

指標となる生き物は、意識的に探さないといけないほどの小ささですが、探し始めると驚くほど多様な生き物たちがいることがわかり、子どもたちも一生懸命活動に取り組むことができました。子どもたちが水生生物について、興味をもつ良い活動になりました。



活動の様子



【事前学習①】



【事前学習②】



【生物採取①】



【生物採取②】



【生物の仕分け①】



【生物の仕分け②】



【採取した生物①】



【採取した生物②】

